

ジェイアールバス東北本部

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

第21号 2024年3月14日

申4号「2024年度夏季ダイヤに関する申し入れ」団体交渉を行う!

JR東労組バス東北本部は、3月14日に「2024年度夏季ダイヤに関する申し入れ」について団体交渉を行いました。主な交渉内容は以下の通りです。

(組合) 2023年10月1日から2024年1月31日までの間において乗務員勤制度、協約・協定、労働基準法上の問題点と、その問題が発生した原因を明らかにすること。また、乗務員勤務制度、協約・協定、労働基準法のそれぞれを遵守すること。

(会社) 乗務員勤務制度、協約・協定や労働基準法について問題はなかった。事前協議の実施等でルール上の問題はないが、発生しないよう改善していく。

(組合) 2023年度冬季ダイヤ改正における検証事項と内容について明らかにすること。

(会社) 青森支店の「冬のおいらせ号」の運行は、予約等も含めて問題はなかった。また、大雪により安全の確保が出来ないことから、青森酸ヶ湯線で8便運休とした。二戸支店の二戸軽米線に「軽米文化交流センター」バス停を新設したが問題なかった。

(組合) 運行管理、点呼体制等は問題ないようにすること。

(会社) 運転担当課長会議や整備担当者会議等を通じて運行管理体制及び点呼執行体制の充実、強化に努めており問題はない。

(組合) 全職場における継続して深刻な要員不足の対応及び対策を明らかにすること。

(会社) 採用については社員紹介制度・カムバック制度等の導入、採用HP・求人広告の見直し等で計画どおりの採用を実施している。また離職者の抑制については、ベースアップの実施等労働条件の向上により、安心して働きやすい職場づくりを実施している。4月1日からは希望者の社員化とエルダー社員制度も実施する。今後も継続して要員不足の対策を実施する。また、新卒者及び社会人採用の活動も引き続き実施していく。2023年度は乗務員22名の採用(内定含む)しており、事務職も合わせると26名となる。要員を増やし、減らさないようにしていく。

(組合) 各現場において拘束時間が13時間を超えるダイヤについては健康維持、休息时间確保のため13時間以内となるように改善すること。

(会社) 今後も引き続き改善に努めていく。

(組合) 2024年4月から適用されるバス運転者の改善基準告知の改正について、ジェイアールバス東北会社における変更点を明らかにすること。

(会社) 全現場と調整し、改善基準告示によりダイヤの見直しとして、減便や持ち便の変更を行う。また、就業規則等についても改正する。問題意識は持っており改善していく。

(組合) ダイヤを作成する際、現場で出ている様々な意見を最大限尊重し、無理のないダイヤを策定すること。

(会社) 2024夏季ダイヤにおいて、青森・八戸=十和田湖線で区間時分の見直しを実施する。仙台=会津線、仙台=首都圏線で一部時刻改正を行う。また、仙台=米沢線の上杉神社前バス停を上杉城址内に移動する。今後も会社全体で収益性を考慮して、適宜にダイヤの見直し等を行う。

(組合) 計画的列車代行輸送も含めた今後のダイヤ等施策について明らかにすること。

(会社) 計画的な列車代行や臨時的な列車代行については、これまでもJRグループとして、又は公共交通機関として最大限に協力し、お客さまの安全安定輸送の確保に努めてきた。今後も継続する考えに変わりはない。今後の施策として高速バスの運賃改定、一般路線の賃率改定及び青森公立大線を酸ヶ湯温泉まで延伸する。

これからも問題点を議論し、安全で働きやすい職場をつくり出そう!